



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和4年7月20日

第5号

さいたま市立日進中学校

TEL 048-663-1251

FAX 048-663-0834

『好きこそ物の上手なれ』

校長 小熊 誠

1学期、生徒たちが登校した日は、69日間でした。コロナウイルスの影響で、なかなか先の見えない状態が続きましたが、保護者・地域の皆様のおかげで、何とか大きな事故もなく終えることができそうです。学校の主役である生徒たちも少しずつ輝き始めています。ありがとうございました。また、PTAの皆様から、生徒たちが熱さをしのぎ、安心安全に生活するために、スポットエアコン6台と学年別カラーのテント3張りをいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。皆様も、コロナウイルスに加え、暑い日も続いています。どうぞお体には十分御留意ください。



3年生が7月2日～4日の2泊3日で、京都・奈良に修学旅行に行っていました。準備の段階から沢山の制限があり、旅行中も、酷暑・スコール・雷・電車の遅れ・電波障害とあらゆる状況下の中、生徒たちは、臨機応変に自ら考え対応していました。まさにスローガンにある「自立・自律・連携」を実践できた旅行だったと思います。生徒たちの逞しさと成長、そして沢山の思いの詰った3日間でした。保護者・地域の皆様を始め、修学旅行実施に携わっていただいた全ての皆様に感謝です。ありがとうございました。



さて、明日からは36日間の夏休みが始まります。この36日間は、生徒たちが、さらに輝くために大切な時間となります。そこで終業式で、生徒たちに夏休みに挑んでもらいたいことを、箱根駅伝を4年連続で走った私の教え子を例に話しをしました。それは、『好きこそ物の上手なれ』という話です。

< 夢中になれる大好きなことが見つければ、いや、好きにさえなれば、辛い時や嫌な時があっても、乗り切れ、前に進めるはず。そして、もっと好きに、もっと楽しくなるためには、どうしたらいいか考え、試してみるはず。自分で考え試したことにより、今よりちょっとでも前に進めれば、さらに楽しくなって、もっともっと好きになってくるはず。そしてさらにさらに前に進むために自分の考えだけでなく、多様な指導や情報も素直に受け止め、吸収しようとする。この繰り返しにより、必ず強くなります。それが成長です。是非この夏休みに夢中になれる大好きなことを見つけ、とことんやり切ってください。 > と話しました。ちなみに生徒たちに話した私の教え子の大好きなことは、「走ること」でした。引込み思案で、前に出ることが苦手だった彼は、「走ること」により、心身ともに強くなり、自信と誇りを身に付けました。大学の駅伝部の主将として見せた彼の笑顔は美しく輝いていました。今、もしかしたら、生徒たちに「大好きなものは何？」と聴いたら、即答できる子は少ないかもしれません。まずは探すことです。もし無いなら、勝負したいことを好きになる努力をすることです。そして、大好きになることです。それが、今より前に進むための第一歩になるはず。保護者・地域の皆様、この夏休み、生徒たちが見つけ、挑む「大好きなこと」に注目してください。『好きこそ物の上手なれ』日進の新しいキーワードです。2学期の生徒たちの輝きを楽しみにしててください。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校